



プレスリリース

2025 年 8 月 21 日

フィリップ モリス ジャパン合同会社

**フィリップ モリス ジャパン、港区と協力し、
区内初のコンテナ型併設喫煙所を赤坂見附駅前に整備
～煙やにおいを防ぎ、快適なまちづくりに貢献～**



フィリップ モリス ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区、社長:シェリー・ゴー、以下「PMJ」又は「当社」)は、東京都港区と協力し、区内初となるコンテナ型の加熱式たばこ・紙巻たばこ専用併設型喫煙場所を赤坂見附駅西口に整備し、2025 年 8 月から供用を開始しました。

港区では、2014 年に「みなとたばこルール」を条例として制定し、区内全域の屋外の公共の場所での路上喫煙や吸い殻のポイ捨てを禁止するなど、喫煙マナーの向上に取り組んできました。こうした取り組みに加え、指定喫煙場所の整備による分煙化も進めており、今回の新たな喫煙場所整備は、さらなる快適なまちづくりを目指す一環として実施されました。

今回整備された喫煙場所は、密閉型のコンテナ構造を採用し、内部を加熱式たばこ専用エリアと紙巻たばこ専用エリアに分けた併設型となっています。高い密閉性と脱臭機の設置により、たばこの煙やにおいが外部に漏れにくいよう配慮されており、周囲の環境への影響の軽減を実現しています。

当社は、これまでも港区内に 3 か所の加熱式たばこ専用喫煙所(品川駅港南口、新橋駅烏森口、田町駅西口)の整備に協力しており、今回の取り組みにおいても、主に内装デザインや形式の検討など技術的なサポートを行いました。

今後、港区をはじめとする自治体と連携し、地域の特性に応じた喫煙環境の整備を通じて、20 歳以上の加熱式たばこユーザーと紙巻たばこの喫煙者、非喫煙者が快適に過ごせるまちづくりに貢献してまいります。

【港区環境リサイクル支援部環境課のコメント】

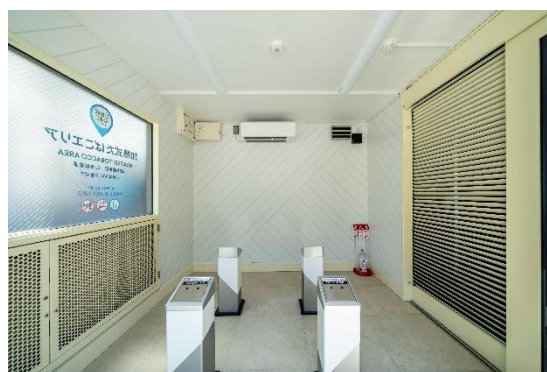
これまでの喫煙場所では、煙やにおいが外に漏れるという課題がありました。今回、PMJ との協力により密閉型で加熱式たばこ・紙巻たばこを分けた併設型喫煙所を設置したことで、吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちの実現に寄与する喫煙環境を整備できたものと捉えています。

今後も、区内の喫煙場所のエリアによる偏りの是正を目指すとともに、民間企業への喫煙場所設置費助成を含め、より一層周囲に配慮した喫煙環境の整備を進めていきたいと考えています。

【フィリップ モリス ジャパン合同会社 環境開発部 部長 鶴岡 斉のコメント】

私たちは、喫煙に関する社会課題の解決に向けて、20 歳以上の加熱式たばこユーザーや喫煙者と非喫煙者が快適に共存できる環境づくりを目指しています。今回、港区と連携し、区内初となる密閉型の加熱式たばこ・紙巻たばこ併設型喫煙所の整備に貢献できたことを大変光栄に思います。

この取組みは、単なる喫煙所の設置にとどまらず、地域の皆さまの声に耳を傾けながら、より良い街づくりに寄与するものと考えています。今後も、行政や自治体と協働しながら、街の特性に応じた喫煙環境の整備を進めてまいります。



■喫煙場所設置場所及び概要

加熱式たばこ・紙巻たばこ専用併設型喫煙場所

設置場所：東京都港区赤坂3丁目2番先

仕様

広さ: 約 18.138 m²

設備: エアコン、プラズマ脱臭機

PMI の企業ビジョン:「煙のない社会」のグローバルリーダー

フィリップ モリス インターナショナル(以下「PMI」)は、「煙のない社会」の実現を目指し、長期的に紙巻たばこやニコチン以外の製品を含むポートフォリオの進化に取り組む国際的消費財企業です。現在の製品ポートフォリオは、主に

紙巻たばこおよび煙の出ない製品で構成されています。2025 年 6 月 30 日時点で、PMI の煙の出ない製品は、世界で 97 の市場における主要都市ないし全国規模で展開しており、全世界で約 4,150 万人もの成人喫煙者（日本においては 20 歳以上、以下同）が PMI の煙の出ない製品を使用していると推定されています。煙の出ない製品に関連する事業は、PMI の 2025 年上半期の純売上の約 41%を占めています。

PMI は 2008 年以降、140 億米ドルを投資し、紙巻たばこの販売終了を目指して、喫煙を続ける成人喫煙者のために革新的な煙の出ない製品の開発、科学的実証、市販化を行っています。これには、特に前臨床システム毒性学、臨床・行動研究、市販後調査の分野における世界トップクラスの科学的評価能力の構築が含まれます。科学的根拠に基づく厳格な審査の結果、米国食品医薬品局（FDA）は、スウェディッシュマツチ社の製品 General snus および経口ニコチンパウチ ZYN、ならびに PMI 社の一部の IQOS デバイスとたばこスティックの販売を許可しました。これは、それぞれのカテゴリーで初めての許可となります。また、一部 IQOS デバイスとたばこスティック、ならびに General snus は、初めてのリスク修飾（軽減）たばこ製品（MRTP: Modified Risk Tobacco Products）として FDA の許可を取得しました。ライフ・サイエンス分野における強固な基盤と重要な専門性を持つ PMI は、ウェルネスとヘルスケア分野への拡大を長期的な目標としており、シームレスな健康体験の提供を通じて生活をより豊かにすることを目指しています。詳細は、PMI のウェブサイト（www.pmi.com）および PMI サイエンス（www.pmiscience.com）をご覧ください。

「煙のない社会」を目指す PMJ について

フィリップ モリス ジャパン（PMJ）は、PMI の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、事業拡大と成長を続け、全国に約 1,600 人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約 42.8%のシェアを有する、加熱式たばこを中心に市場を牽引する企業です（2025 年 6 月末時点）。PMJ は PMI が掲げる「煙のない社会」を目指す取組みをここ日本で推進しています。PMJ の「煙のない社会」の実現を目指し、加熱式たばこのみ利用可能な「煙のない」施設や観光地などを全国で広げる取組みに関して詳しくは PMJ ウェブサイトをご覧ください：<https://www.pmi.com/markets/japan/ja/home>